

ULVAC

株式会社 アルバック

決算説明資料

2020年度 2020年7月~2021年6月

2021年8月11日

証券コード：6728

Breakthrough 2022

将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 2020年度は計画を大きく上回る実績

- ロジック・メモリ関連・中国のエレクトロニクス関連・巣ごもり需要増加に対応したFPD関連などが好調
- モノづくり力強化等により、売上総利益率は前年度27.3%から29.4%に改善

2020年度	実績	計画比
受注高	1,989億円	+189億円
売上高	1,830億円	+180億円
営業利益	172億円	+22億円

2. 2021年度計画上方修正

- 半導体電子・FPD関連が引き続き好調
- 売上高と営業利益目標を上方修正

2021年度	計画	当初計画比
売上高	2,100億円	+200億円
営業利益	265億円	+30億円

3. 中期経営計画

- 2022年度の売上高と営業利益目標を上方修正
- 成長に向けた研究開発投資を150億円増額

2022年度	目標	当初計画比
売上高	2,350億円	+250億円
営業利益	380億円	+40億円

4. 2020年度配当：95円（15円増配）

- 2021年度：業績に連動した利益配分に移行（配当性向30%以上）：110円（予想）



2020年度 連結業績

計画を大幅に上回る2020年度実績

- ロジック・メモリ投資や中国の国産化方針に基づくエレクトロニクス関連投資、巣ごもり需要（パネル需要）増加に対応したFPD関連投資などが活発化し、受注・売上・営業利益ともに計画を大幅に上回る実績
- 売上総利益率は27.3%から29.4%に改善

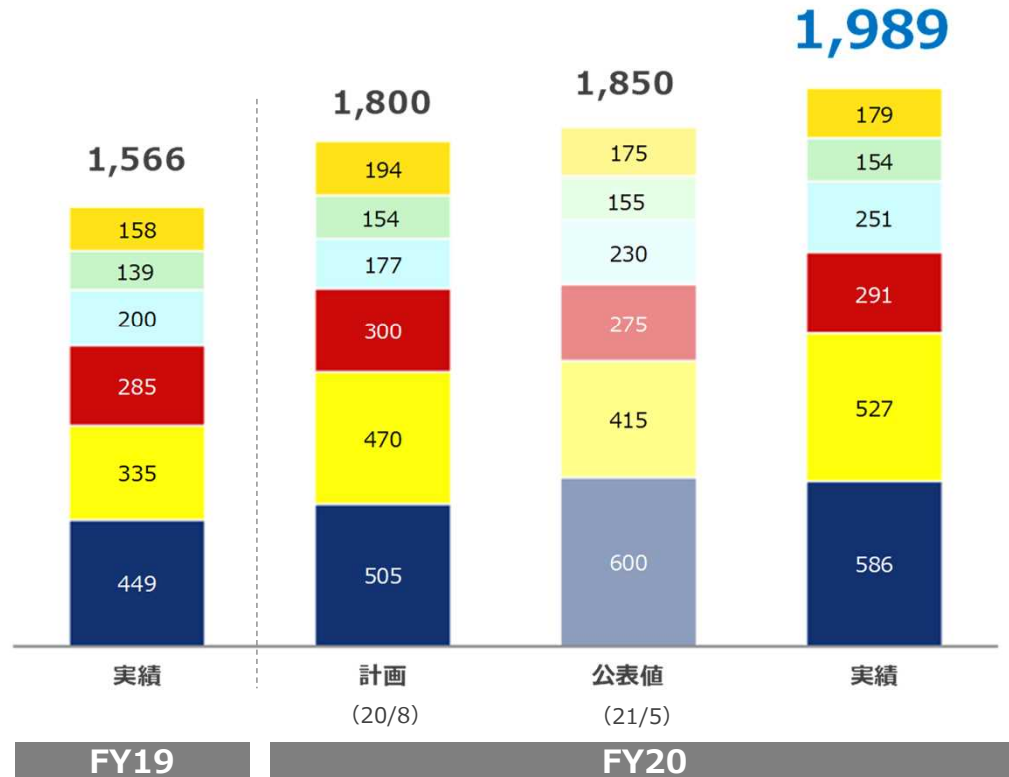
【単位：億円】	2019年度		2020年度			
	実績	計画	公表値	実績	前年同期比	計画比
受注高	1,566	1,800	1,850	1,989	423	189
売上高	1,854	1,650	1,800	1,830	-24	180
売上総利益	506	-	-	538	32	
率	27.3%	-	-	29.4%	2.1pt	
販管費	346	-	-	366	20	
営業利益	160	150	165	172	12	22
率	8.6%	9.1%	9.2%	9.4%	0.8pt	0.3pt
経常利益	181	160	165	180	-1	20
率	9.7%	9.7%	9.2%	9.8%	0.1pt	0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	108	100	125	148	40	48
率	5.8%	6.1%	6.9%	8.1%	2.3pt	2.0pt

※20年度配当：95円（15円増配）、21年度配当：業績に連動した利益配分に移行（配当性向30%以上）

- 半導体・電子・FPDの投資活発化により、前年同期比、計画比ともに大幅増加
- FPD案件で前倒し受注があり大幅増加

受注高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



半導体・電子

半導体

メモリの投資再開・ロジック投資継続で前年同期・計画を上回る実績

電子部品

パワー・オプト・通信デバイス、実装等電子関連の受注増加で前年同期・計画を上回る実績

FPD

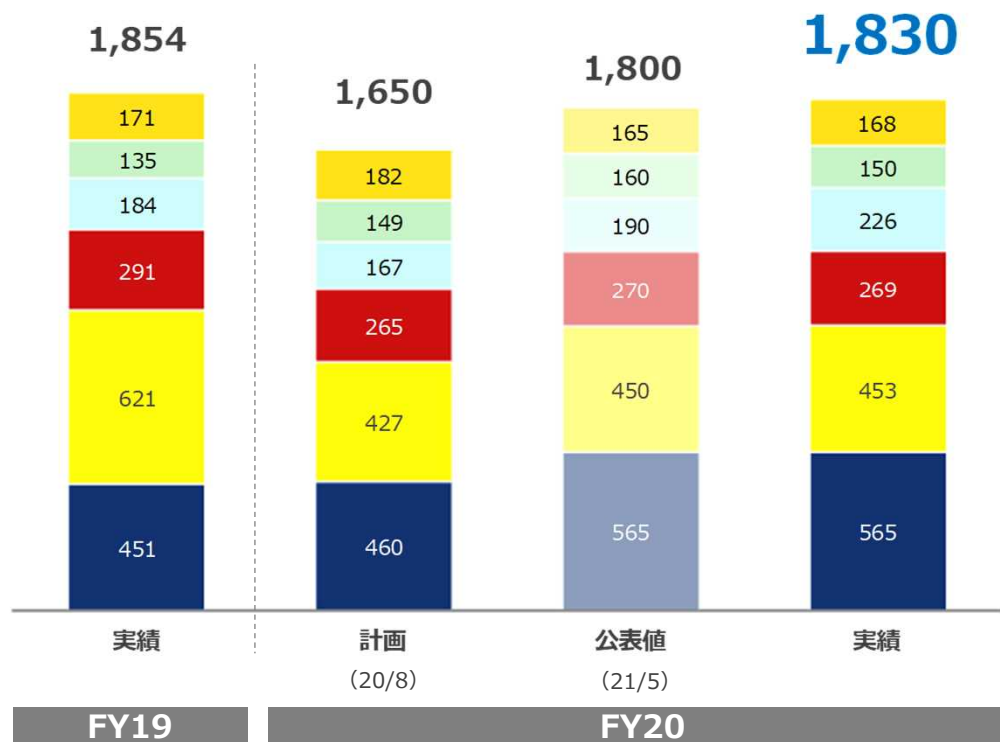
スマートフォン・タブレット用OLED投資、LCD投資継続で前年同期・計画を上回る実績

巣ごもり需要に伴うタブレット・PC用LCDパネル需要増加
 各国補助金による大型TV用パネル需要増加
 ⇒中国を中心にLCD投資継続

- 半導体・電子関連の投資活発化、LCD投資継続等により、計画を大幅に上回る実績

売上高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



半導体・電子

半導体

メモリの投資再開・ロジック投資継続による受注増加で前年同期・計画を上回る実績

電子部品

パワー・オプト・通信デバイス、実装等電子関連の受注増加で前年同期・計画を上回る実績

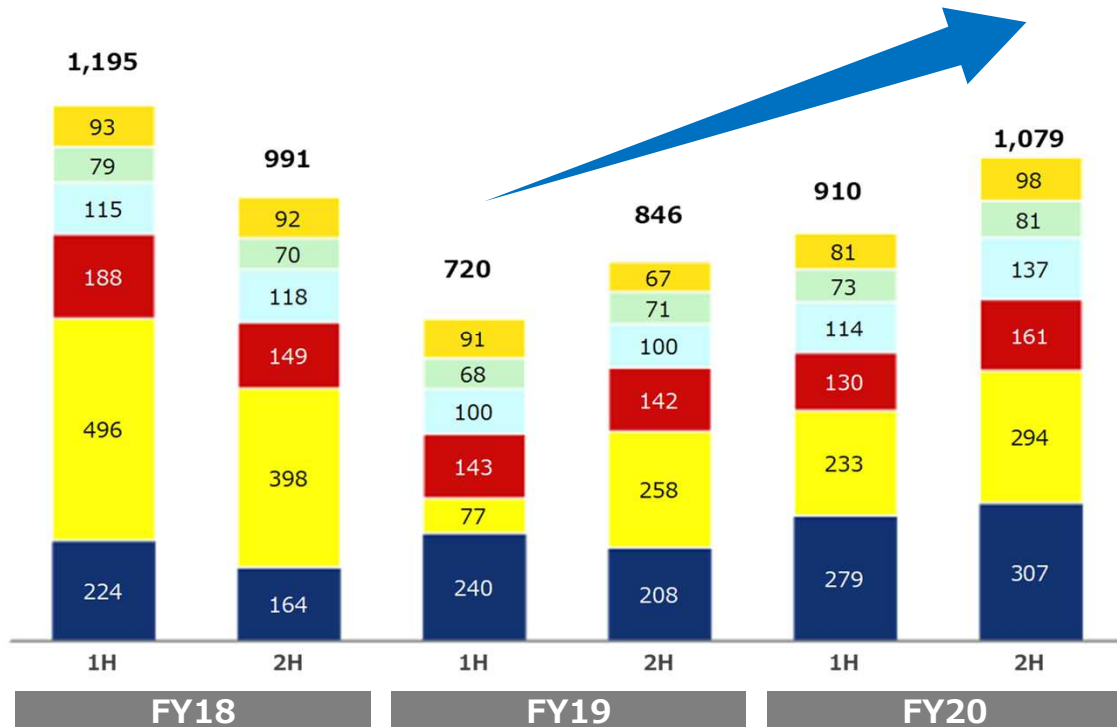
FPD

前年同期の低受注高の影響で前年同期比低下するも、LCD投資継続により計画を上回る実績

- 受注高は19年度上期、売上高は20年度上期を境に増加

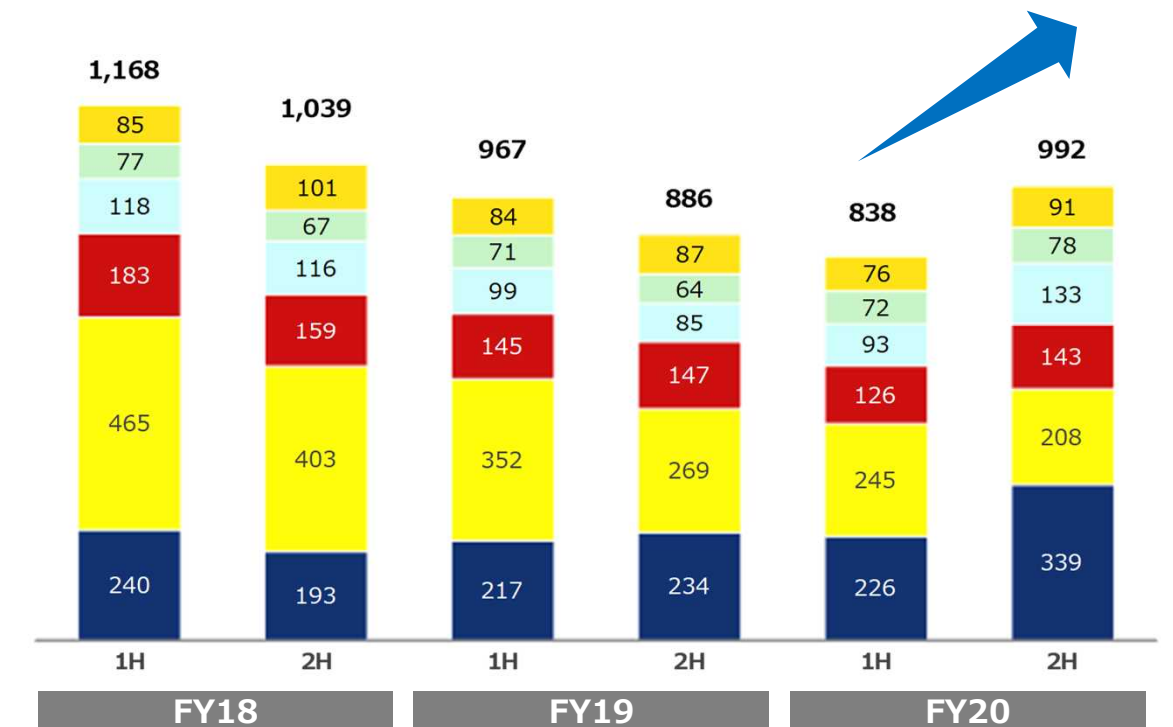
受注高 【単位：億円】

- 半導体及び電子部品製造装置
- コンポーネント
- 材料
- FPD製造装置
- 一般産業用装置
- その他



売上高 【単位：億円】

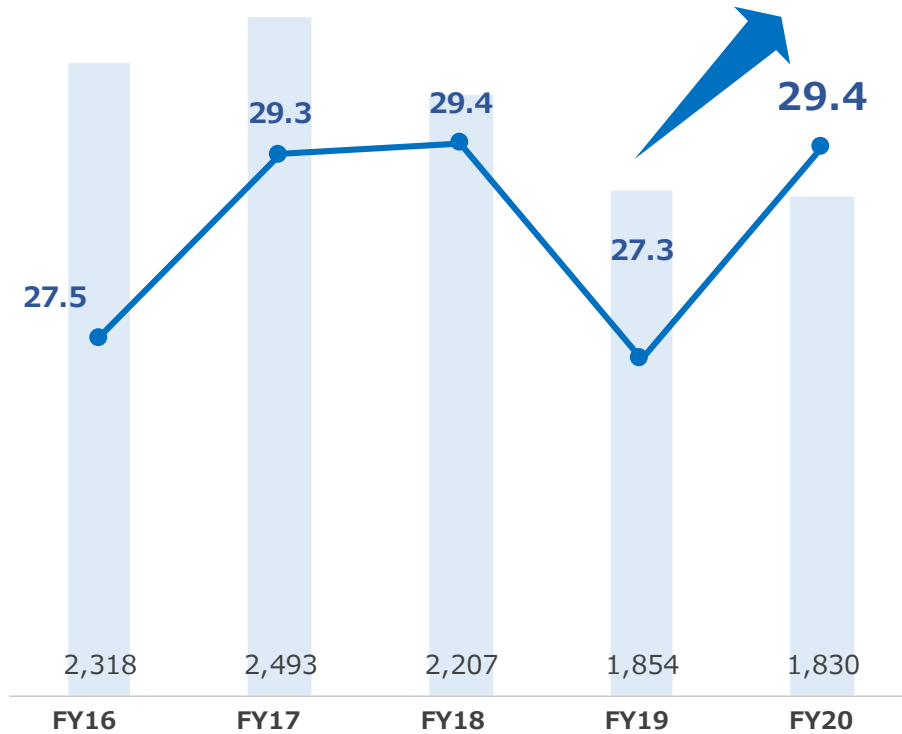
- 半導体及び電子部品製造装置
- コンポーネント
- 材料
- FPD製造装置
- 一般産業用装置
- その他



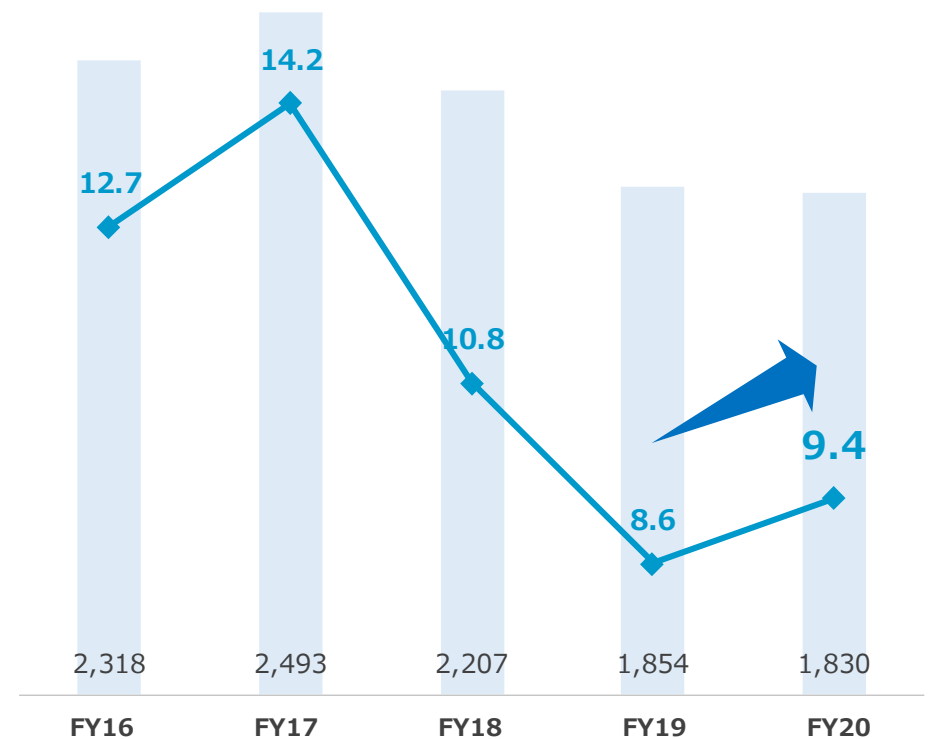
モノづくり力強化で利益率は改善

- モノづくり力強化等により、売上総利益率・営業利益率ともに改善

売上総利益率 【単位：億円、%】 売上高 売上総利益率



営業利益率 【単位：億円、%】 売上高 営業利益率



● 純資産126億円増加、自己資本比率57.0%

資産

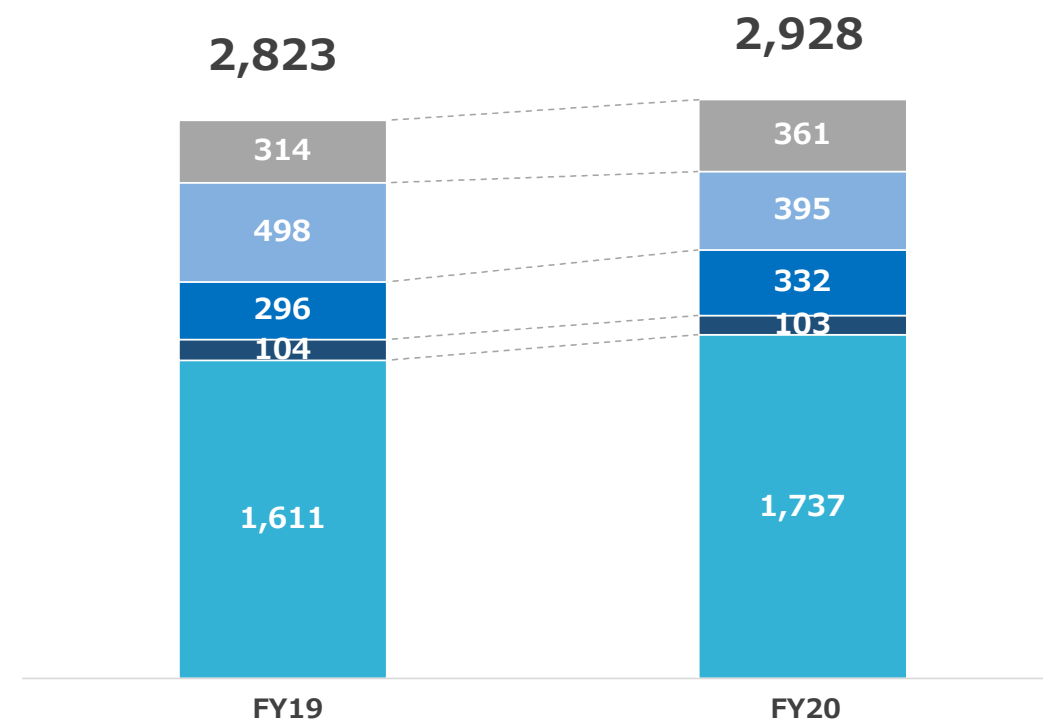
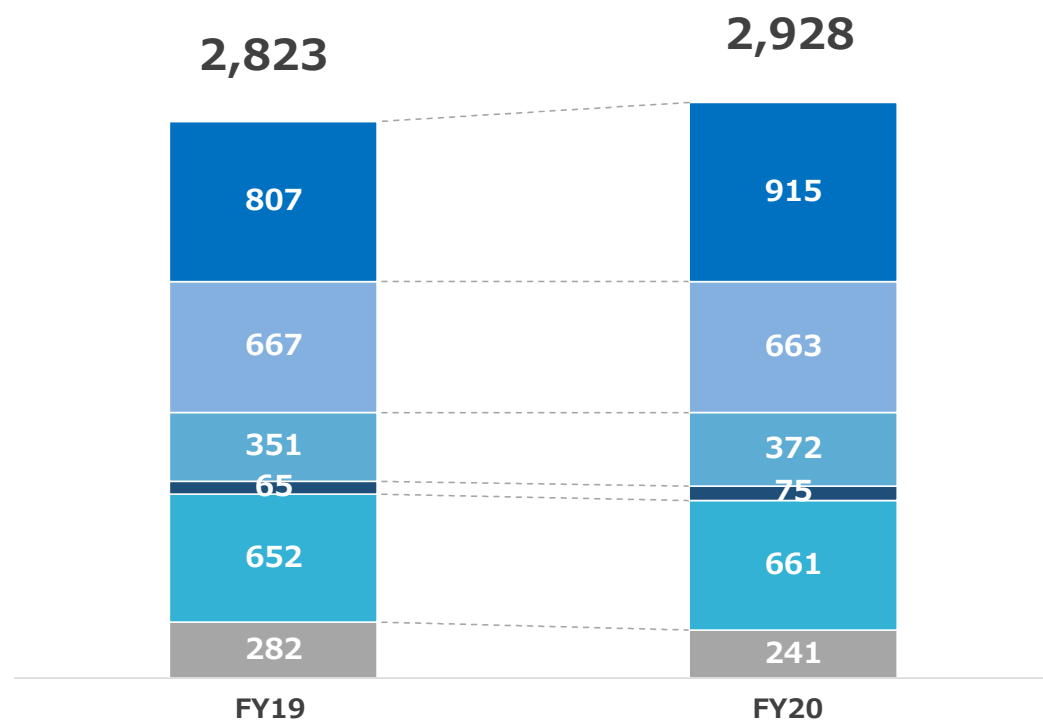
【単位：億円】

- 投資有価証券 他
- 有形固定資産
- その他の流動資産
- 棚卸資産
- 受取手形・売掛金
- 現金・預金

負債・純資産

【単位：億円】

- 純資産
- 有利子負債
- その他固定負債
- 支払手形・買掛金
- その他流動負債





2021年度 連結業績予想

売上高・営業利益を中期経営計画比、上方修正

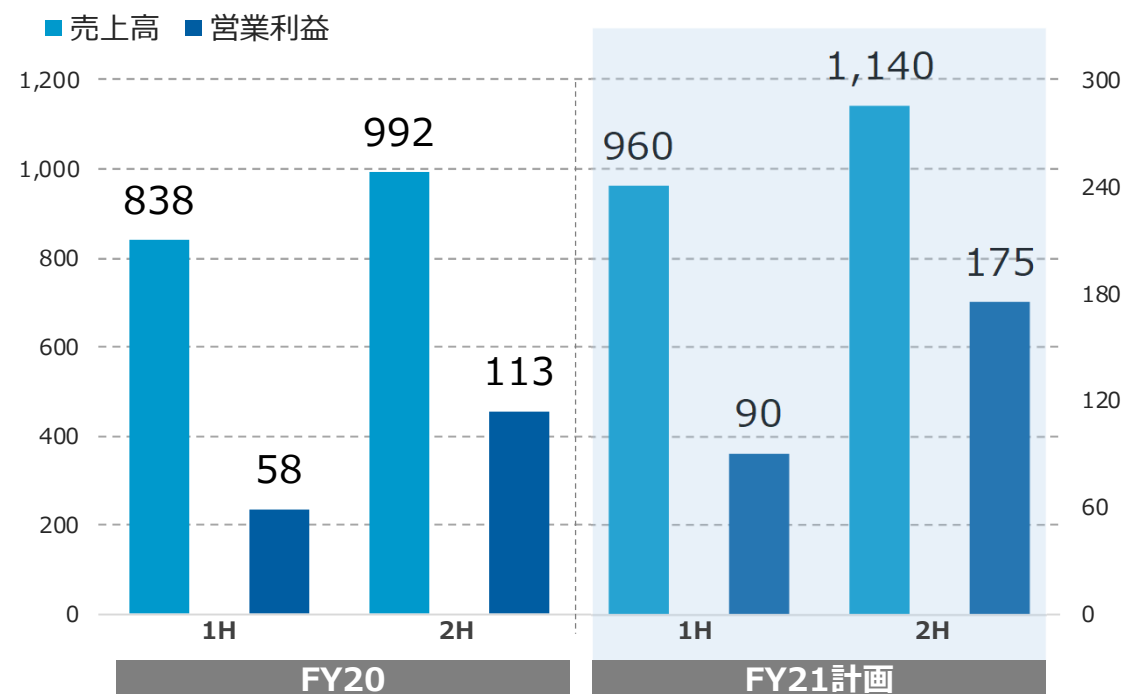
● 売上高：1,900億円⇒2,100億円、営業利益：235億円⇒265億円に上方修正

- 受注高：半導体・電子・FPDを中心に前年同期比大幅増加計画
- 売上高：受注増加に伴い前年同期比大幅増加計画
- 営業利益：売上高増加・利益率改善等により、前年同期比増加、営業利益率12.6%の計画

【単位：億円】	2020年度		2021年度計画	
	実績	上期	通期 (20/8計画)	前年同期比
受注高	1,989	1,070	2,300	311
売上高	1,830	960	2,100 (1,900)	270
営業利益	172	90	265 (235)	93
率	9.4%	9.4%	12.6%	3.2pt
経常利益	180	90	270	90
率	9.8%	9.4%	12.9%	3.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	148	65	180	32
率	8.1%	6.8%	8.6%	0.5pt

売上高と営業利益の推移（半期毎）

【単位：億円】

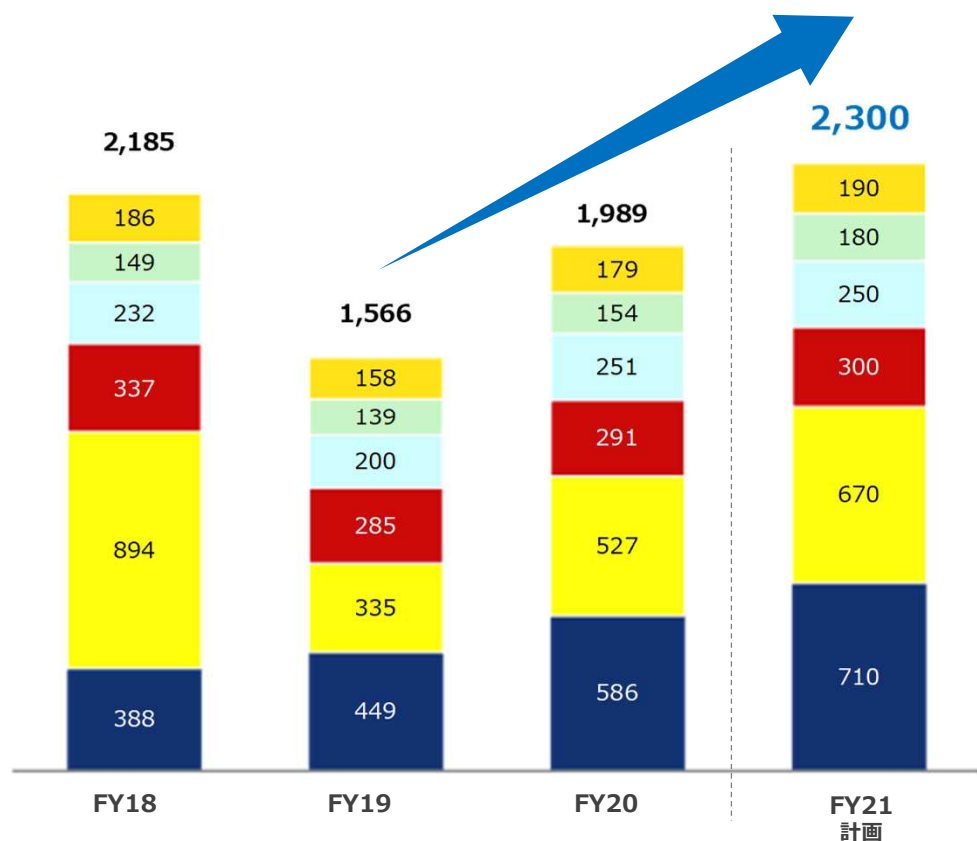


売上高を上方修正

- 受注高は、19年度を境に増加、21年度は半導体・電子・FPDを中心に増加し、2,300億円の計画
- 売上高は、20年度を境に増加、21年度計画は1,900億円から2,100億円に上方修正

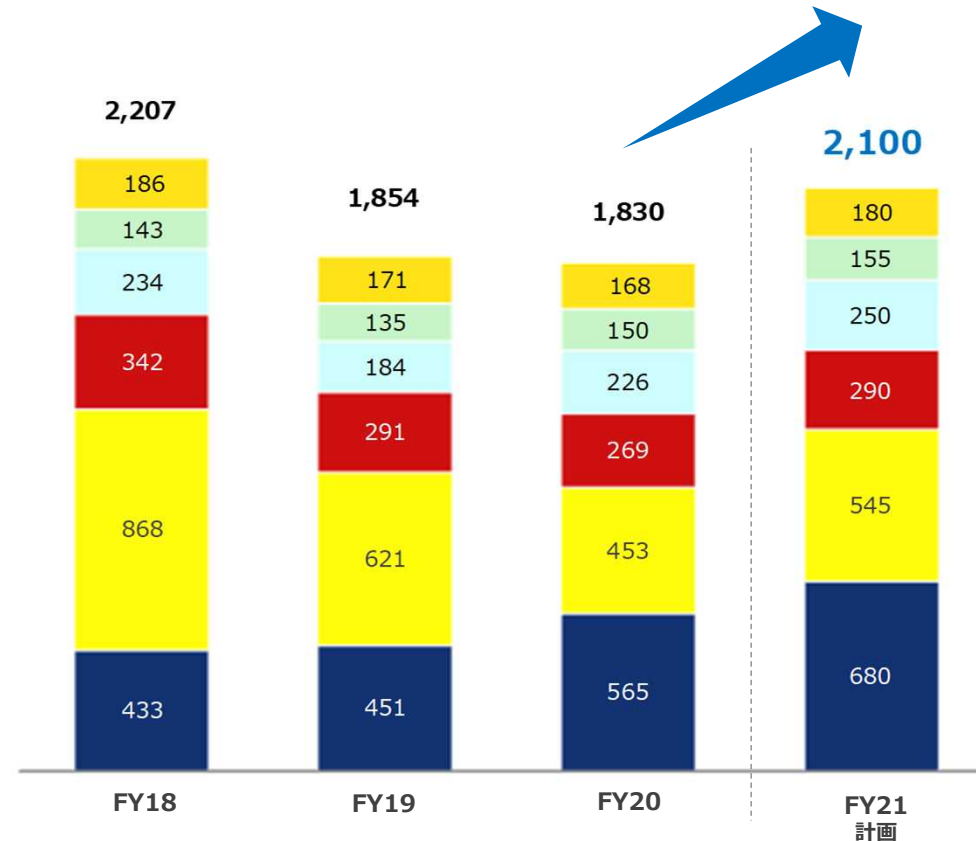
受注高

【単位：億円】



売上高

【単位：億円】



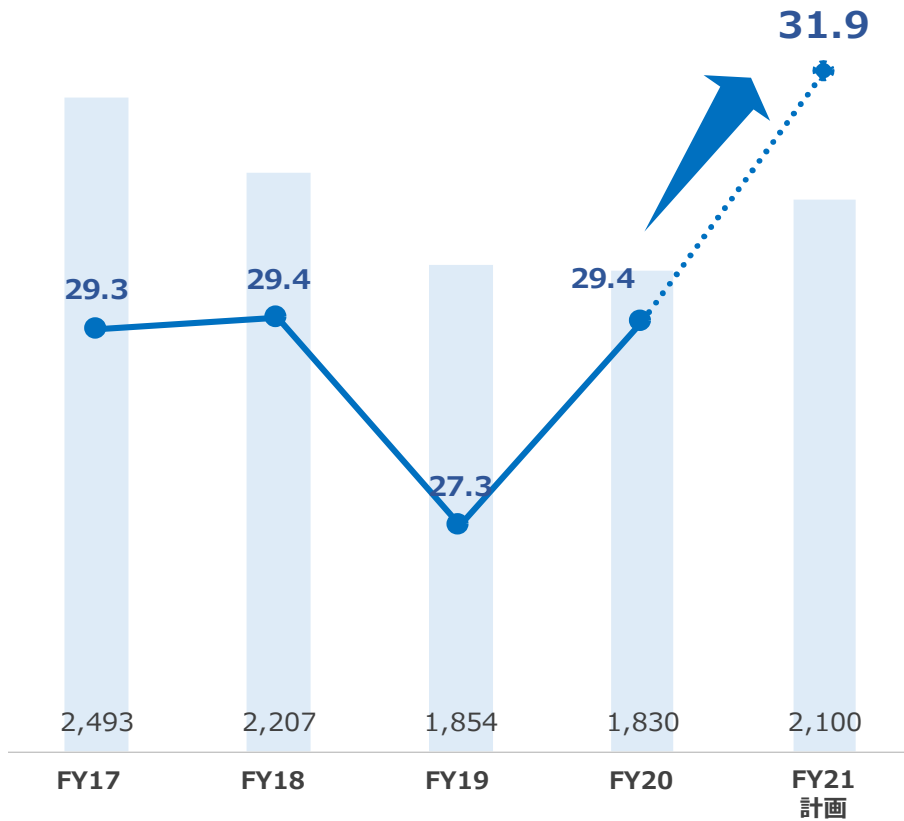
モノづくり力強化等により利益率大幅改善計画

- モノづくり力強化・生産性向上、売上増加等により、売上総利益率・営業利益率ともに大幅改善計画

売上総利益率

【単位：億円、%】

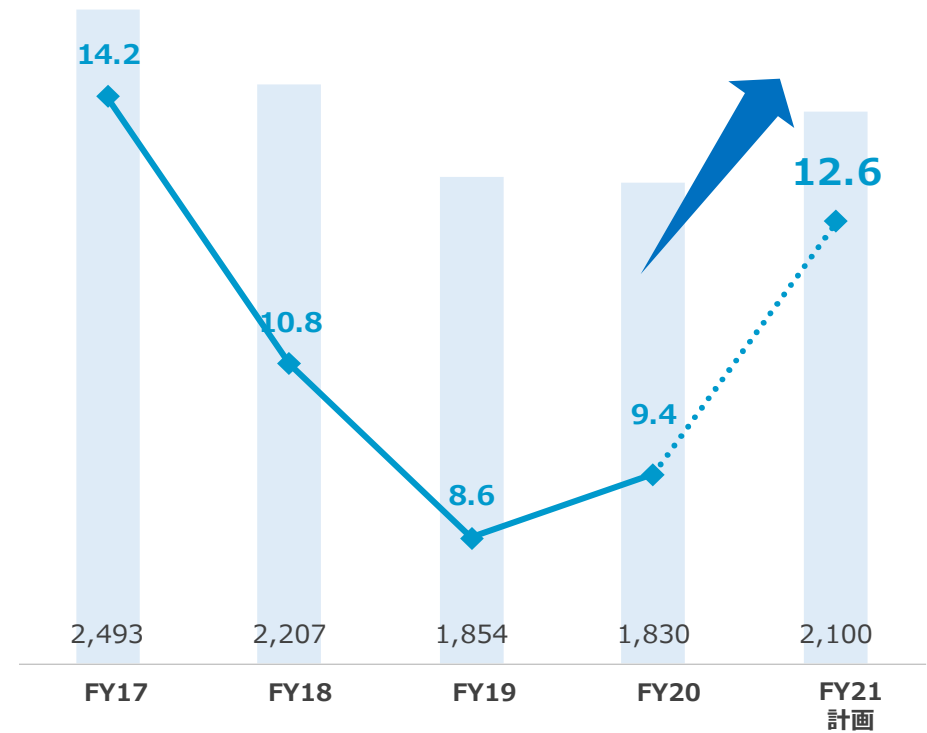
売上高 売上総利益率



営業利益率

【単位：億円、%】

売上高 営業利益率

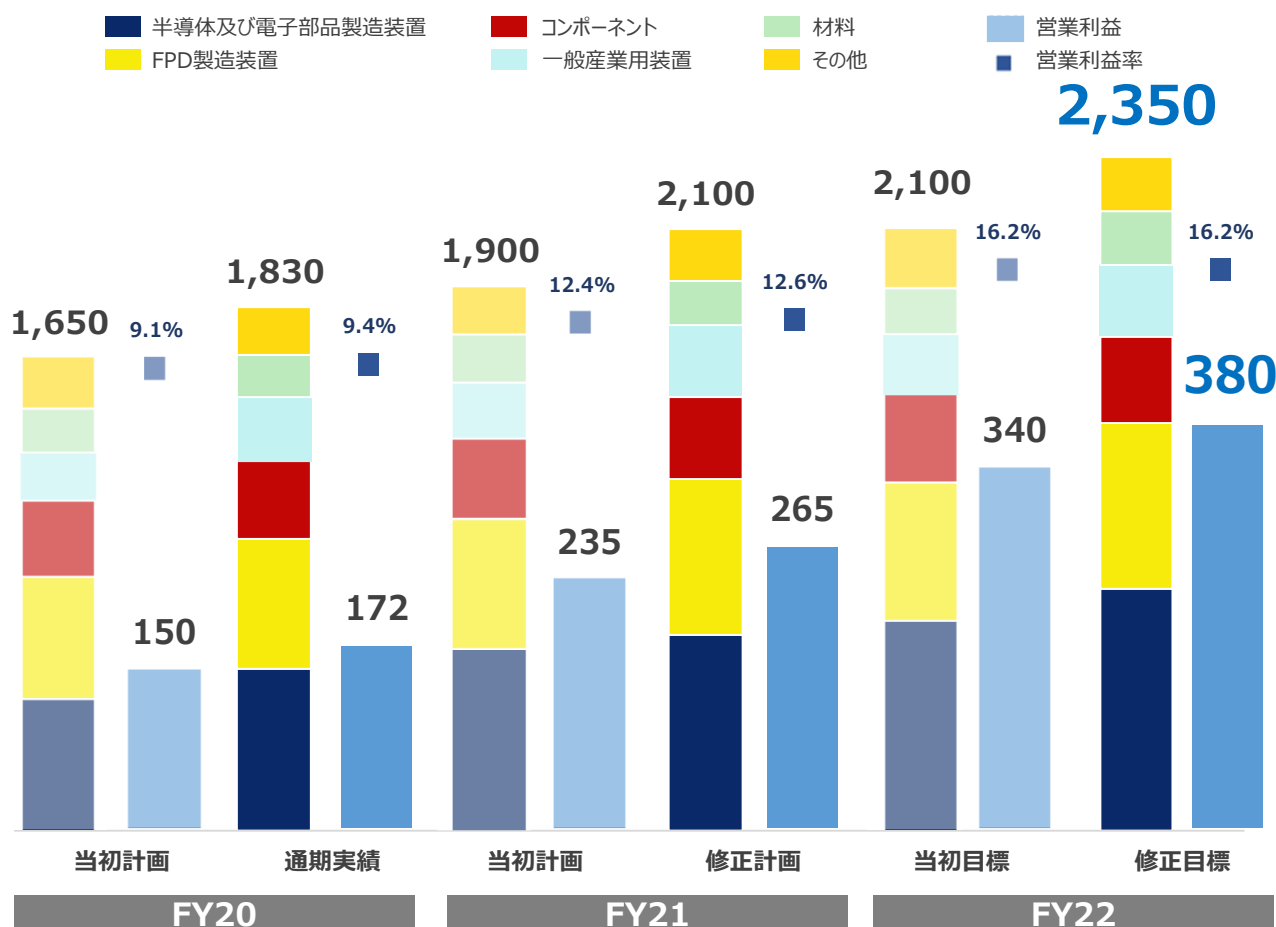




中期経営計画の上方修正

- 中期経営計画を上方修正：22年度売上高 2,100億円→2,350億円、営業利益 340億円→380億円
- 半導体・電子・FPD関連の投資拡大が見込まれることから、技術革新に対応する研究開発投資を150億円増額

売上高・営業利益（率） 【単位：億円】



上方修正の主な要因

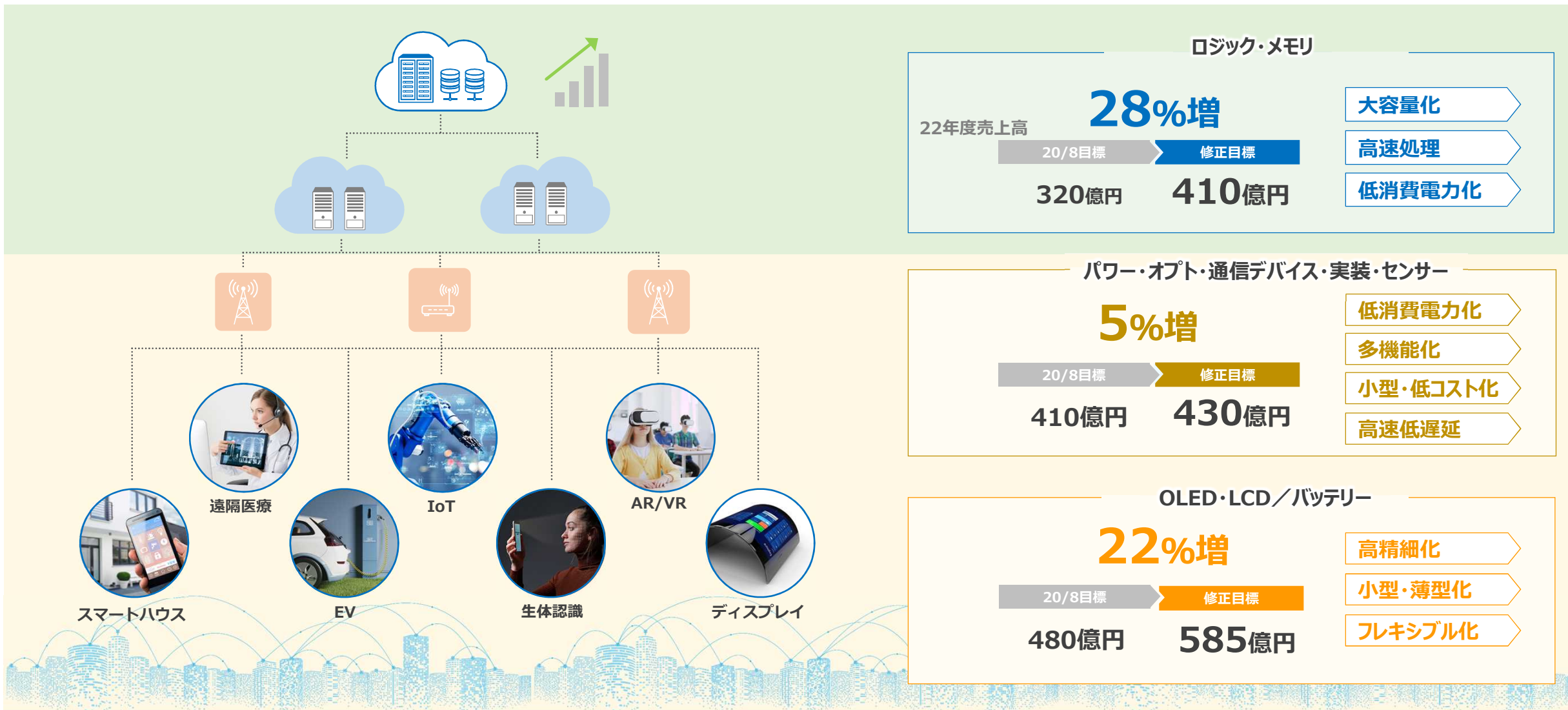
半導体・電子が成長をリード
FPDも好調

半導体	ロジック・ファウンドリー・メモリ投資の活発化 ロジック参入で他工程参入機会増加
電子	日本・中国でパワー・オプト・通信デバイス等 投資活発化
FPD	LCD投資・中小型OLED投資継続、 大型基板OLED投資

利益計画

モノづくり改革による利益率改善、売上増加等により、成長のための研究開発投資増を織り込んだうえで、利益計画を上方修正

● リモートの常態化/EV化促進/AIの活用拡大/地域サプライチェーン構築で投資拡大

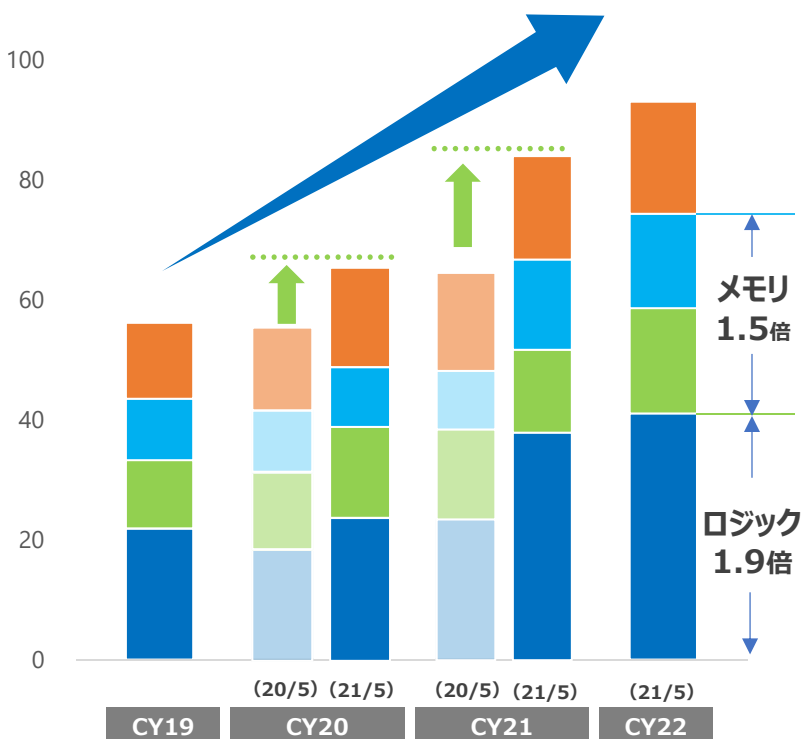


半導体は市場成長を上回る成長を目指す

- ロジック・ファウンドリー、メモリともに積極的な投資計画（市場予測も上方修正、22年も成長予測）
- ロジック メタル・ハード・マスク（MHM）工程参入により、他工程への参入機会も拡大、市場を上回る成長を目指す

半導体設備投資市場予測 【単位：bnUS\$】

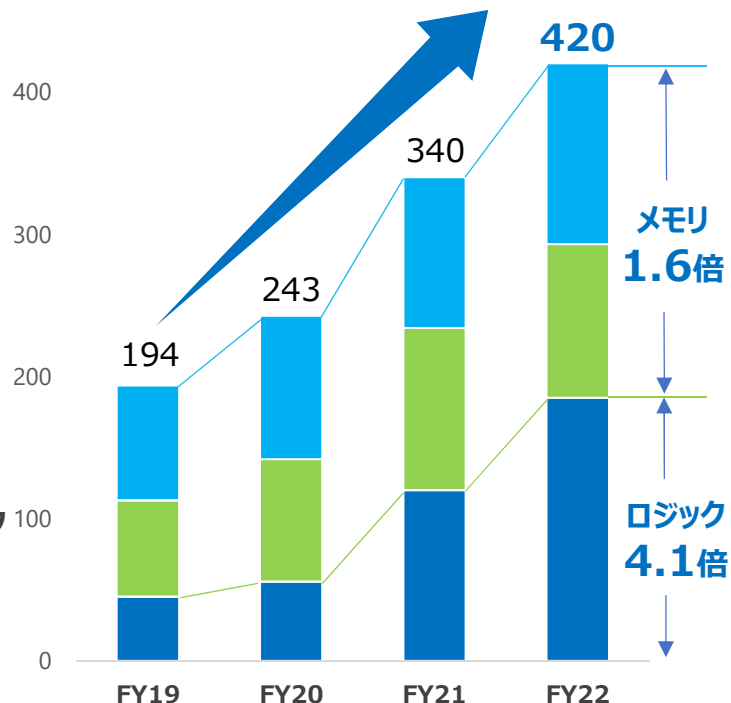
■ ロジック ■ NAND ■ DRAM ■ 他



出所：SEMI

受注計画 【単位：億円】

■ ロジック ■ 不揮発性メモリ ■ DRAM



ロジック・ファウンドリー

データ量増加・スピードアップ、アプリケーションのすそ野拡大、地域サプライチェーン構築等に向け投資活発化

ロジック投資の7割以上がEUV関連
 ・微細化でMHM工程増加
 ・他工程参入機会も増加
 ⇒「高水準の市場成長」を上回る計画

メモリ

データセンター投資、アプリケーションのすそ野拡大・高機能化等により、メモリ投資も拡大

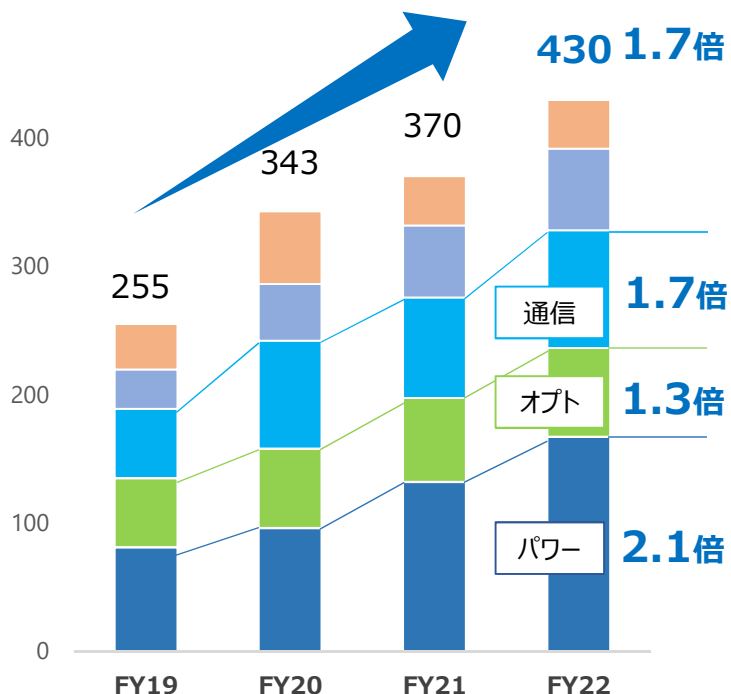
PCRAMは最先端顧客の市場開拓に伴う計画期間後半の投資に期待

- パワーデバイス、オプトデバイス、通信デバイス等の投資が日本・中国で活発化
- 特に中国は政府の国産化方針もあり、パワーデバイスやAR/VR向けオプトデバイスを中心に投資が活発化

受注計画（分野別）

【単位：億円】

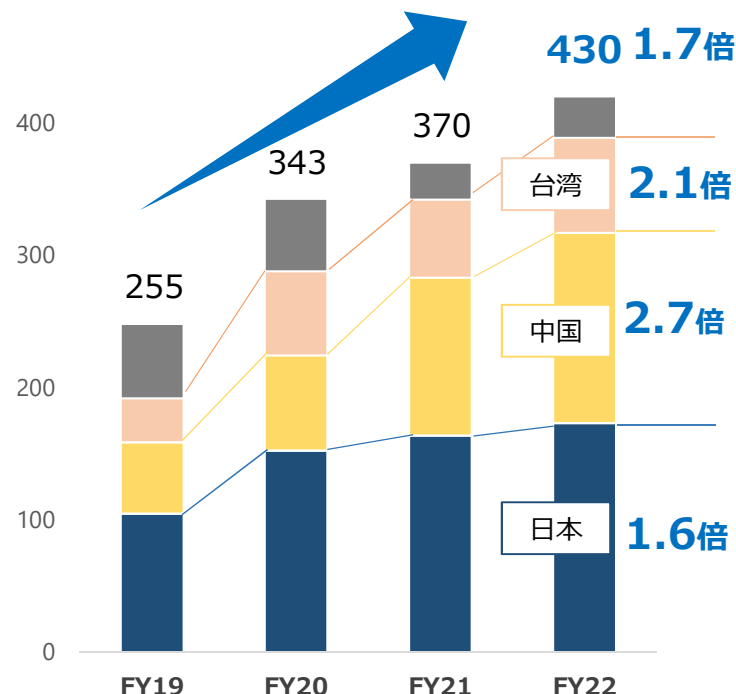
- パワーデバイス
- オプトデバイス
- 通信デバイス
- パッケージング
- 電子部品（MEMS）



受注計画（地域別）

【単位：億円】

- 日本
- 中国
- 台湾
- その他



パワーデバイス

日本：生産能力増強のための設備投資活発化
IGBT向け裏面電極スパッタリング装置中心に成長

中国：国産化政策、地方政府支援で新規参入多数
中国はSiC中心に投資活発化
イオン注入装置（温度変化調整で優位性）高シェア
ローエンド・パワー半導体向け蒸着装置（処理能力・コスト競争力高い）を現地生産で拡販

オプトデバイス

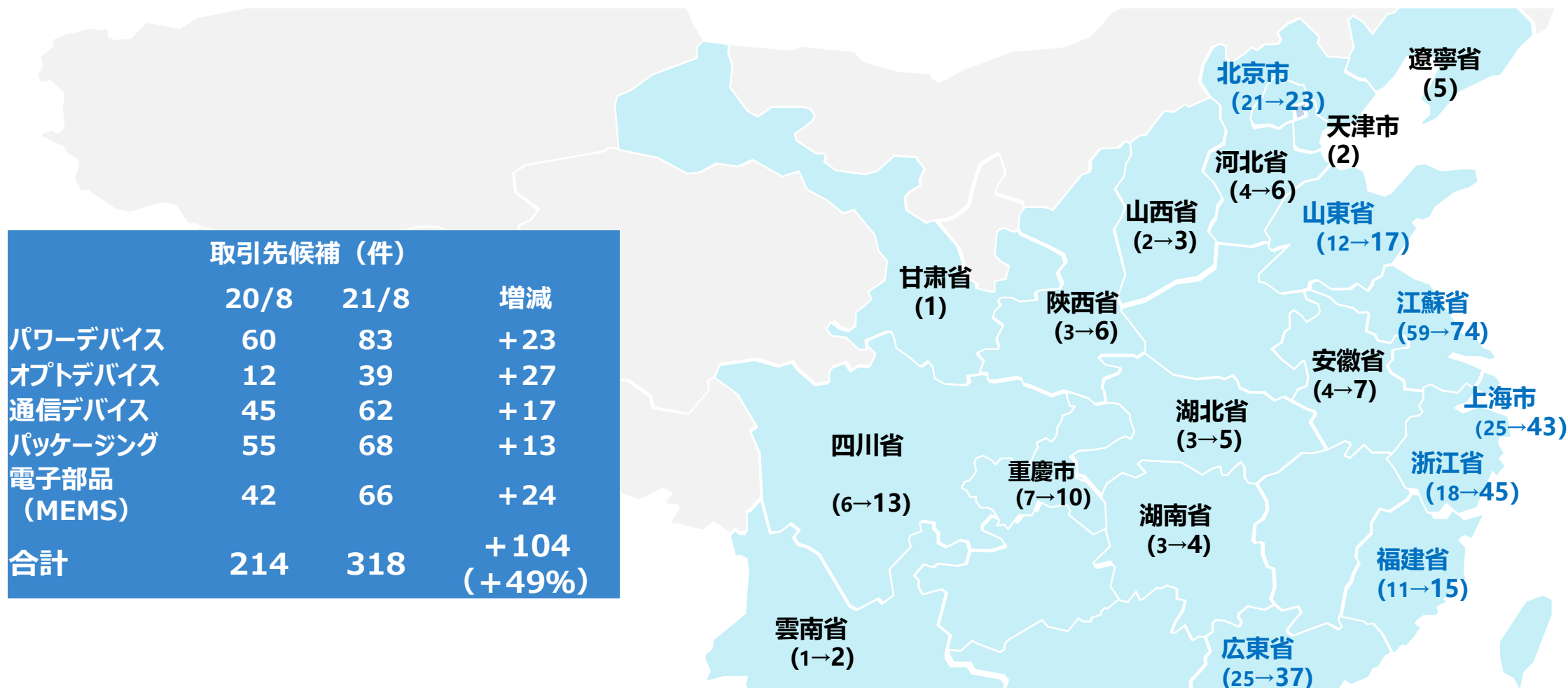
日本：AR/VR用μOLED向け投資が活発化

中国：3Dセンサー、車載用ディスプレイ、AR/VR用μOLED投資拡大
低パーティクル、大型・歪曲対応、化合物系等で差別化

通信デバイス

日本：5G対応スマートフォンの本格普及に伴うSAW/BAWフィルター用投資拡大

- 国産化政策の下、沿海部を中心とした地方政府支援により、電子デバイス分野の投資活発化
- 中国における強固なネットワークにエンジニアを派遣し技術営業力を強化
- パワー・オプト・通信デバイス、パッケージング等幅広い分野で商談増加



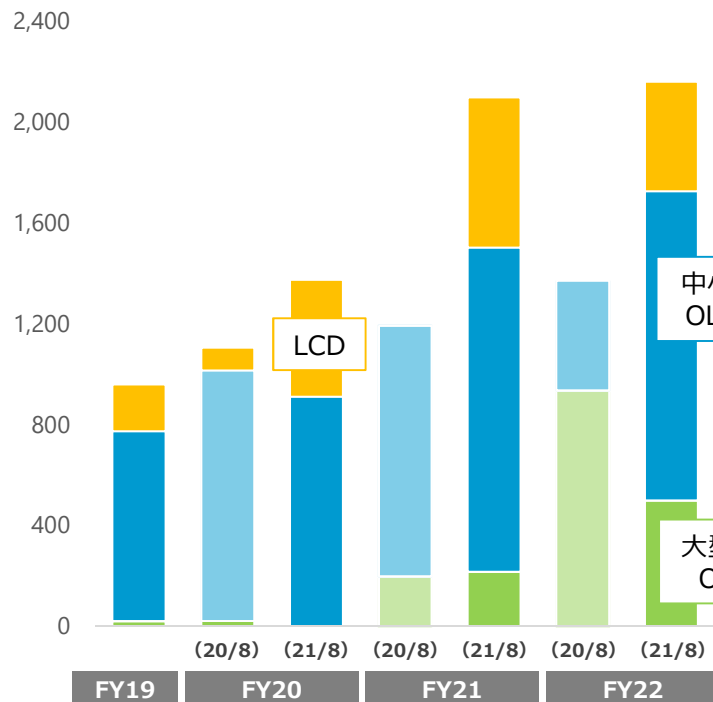
- 巣ごもり需要に伴うパネル需要増加（LCD投資継続）、OLED化加速でFPD投資大幅増加
- OLED化は、モバイル用に加え、タブレット・PC・医療用・車載用・ゲーム用などITパネルに拡大

FPD設備投資動向

【単位：億円】

(蒸着・スパッタ)

■ 大型基板OLED ■ 中小型OLED ■ LCD

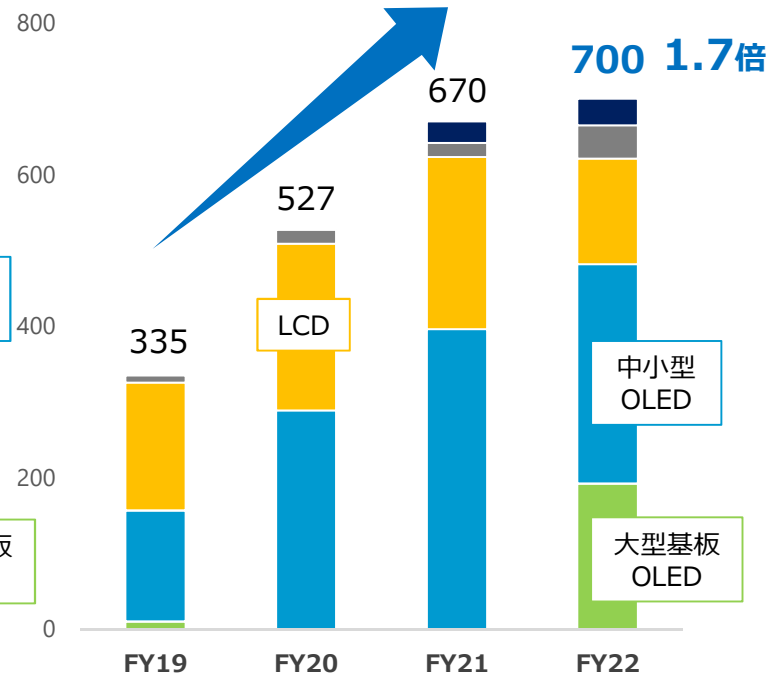


出所：当社予測

受注計画

【単位：億円】

■ 大型基板OLED ■ 中小型OLED ■ LCD
■ キャパシタ・バッテリー ■ その他



LCD

巣ごもり需要に伴うタブレット・PC用LCDパネル需要増加
各国補助金による大型TV用パネル需要増加
⇒中国を中心に大型LCD投資継続

大型装置の製品競争力の更なる改善でシェアNo1維持

OLED

モバイル・タブレットの高画質化、軽量・薄型化でOLED化進展

ITパネルのOLED化⇒韓国・中国大手の大型基板量産開発

大型基板のスパッタリング装置や搬送技術、高精細対応での強みを生かし大型基板OLED量産対応

巻取り装置

車載用バッテリーの小型大容量化対応(本格成長はFY23以降)
(キャパシタ：高機能巻取り装置で高いシェア)

- 装置事業と連携し、安定ビジネス基盤を強化

市場環境

- 半導体・電子・FPD等装置市場拡大（特に中国）
- LCD⇒OLED化進展

コンポーネント



- ### アルバックの強み
- 装置事業との連携で装置メーカーニーズに合致した製品提供
 - クライオポンプ^o：防振機能・排気性能・長期信頼性が評価されOLED市場で**ほぼ100%のシェア**

成長戦略

- **ドライポンプ・ヘリウムリークディテクタ・DC電源等**で順次新製品投入
- OLED・LCD用クライオポンプに加え、半導体・電子分野も市場開拓

マテリアル



- FPD用メタルターゲット（Cu,Al,Ti）・IGZO：**シェアNo1**
- 粉末焼結冶金で蓄積した技術
- 装置・プロセス・材料一体提案

- 半導体電子の焼結ターゲット（W,WSi等）、メタルターゲット（Al,Ti）**拡販**
- 高精細化を実現する**IGZO拡販**

カスタマーサポート

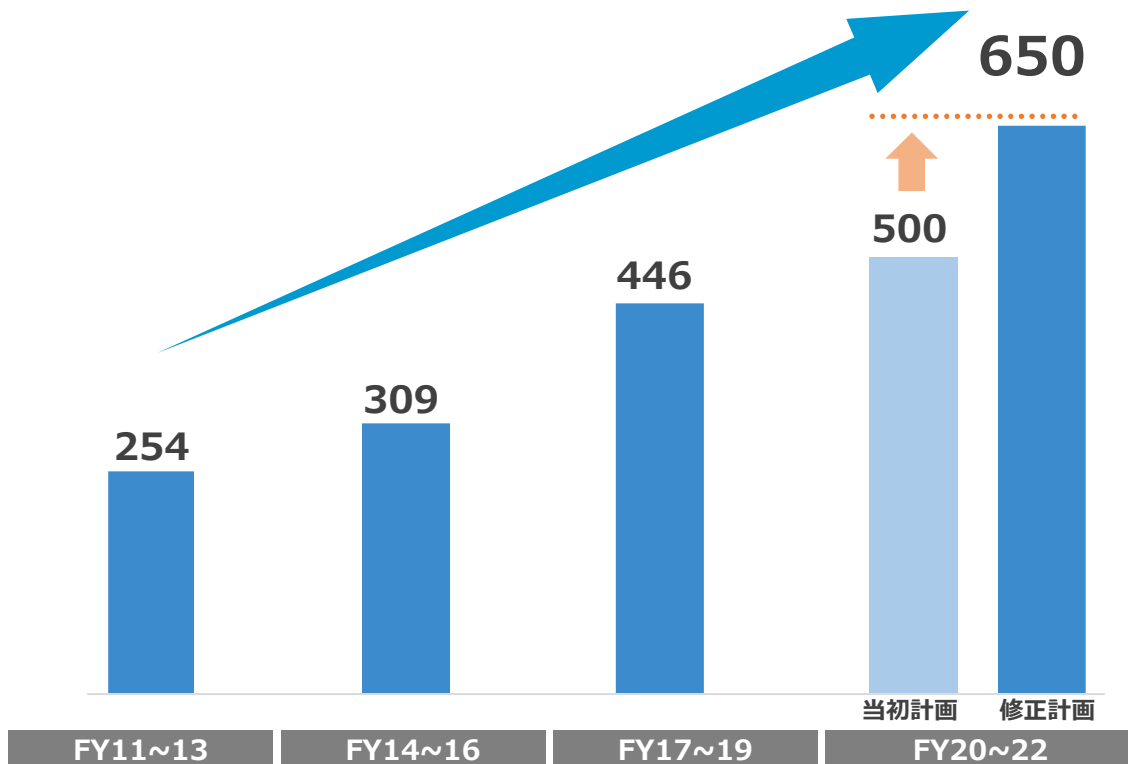


- 東アジアにおけるCSネットワーク
- 既存装置**約9千台**
- 装置販売との連携

- 保守・表面処理・洗浄・部品販売等**安定ビジネス基盤を装置販売と連携して拡大**（特に中国）
- **CIPビジネス拡大**（FPD用途変更等）

- 研究開発の「選択と集中」を徹底
- 半導体電子の共同開発に加え、OLED大型基板化等に対応し、研究開発投資を強化
- 研究開発投資を3年間で500億円⇒650億円に増額

設備投資・研究開発費の推移・予想 【単位：億円】 ■ 研究開発投資 (研究開発設備投資・研究開発費の合計)



- 研究所統合
- 製品開発シフト
- グローバル開発体制強化
- 顧客ロードマップ共有



- ▶ 選択と集中
 - 半導体：ロジック・メモリ共同開発増加
 - 電子：主要5分野（モジュール深化・中国対応）
 - FPD：大型基板化対応
 - コンポーネント：新型ドライポンプ・DC電源

⇒ 技術革新に対応する開発案件増加

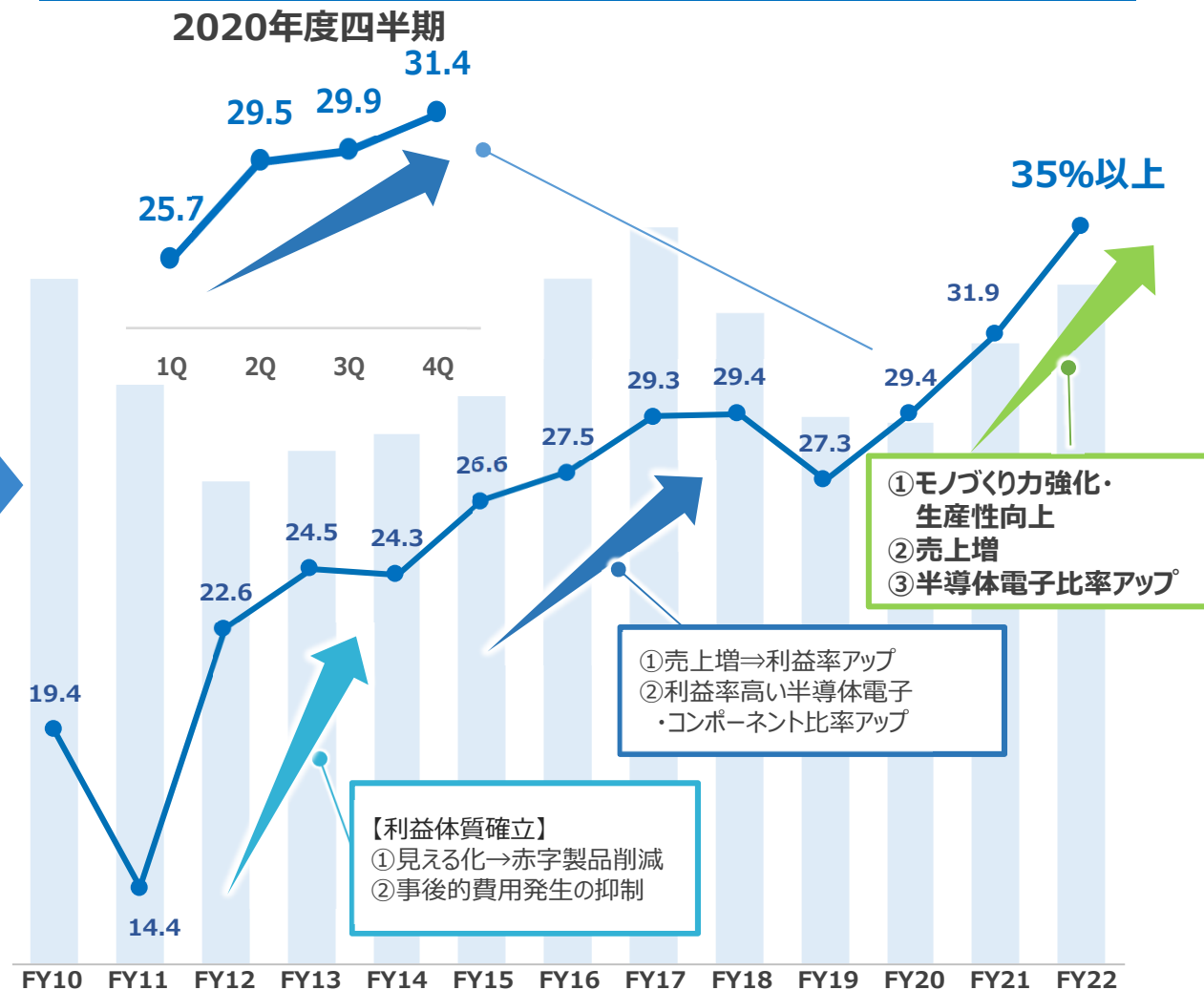
モノづくり力強化により、売上総利益率も着実に改善



売上総利益率推移

【単位：％】

■ 売上高 ● 売上総利益率



	中期経営計画の取り組み		成果・進捗評価	
成長事業の強化 研究開発力強化	半導体	ロジックの微細化工程新規参入 メモリ投資再開・新工程参入	ロジック・メモリとも積極的な投資計画 MHM工程+他工程開発で受注増加	
	電子	モジュール化による提案装置拡大 中国での開発・営業・サポート体制強化	パワー・オプト・通信デバイス等の投資活発化 ⇒日本・中国を中心に受注増加 モジュール化による提案装置拡大 ⇒「Geminiシリーズ」リリース 中国営業・技術サポート体制強化	
	FPD	大型基板OLED量産開発 利益体質に転換	LCD投資継続・OLEDシフト化で受注増加 モノづくり力強化を着実に実施	
モノづくり力強化	技術設計・調達・生産一体改革 ⇒生産性向上⇒利益率改善		・各種施策を着実に実施 ⇒利益率も着実に改善（前ページ参照）	
グループ経営効率強化	ビジネスユニット経営推進 自社製品を持つグループ会社の経営強化		韓国グループ会社統合 経営改革を推進	
経営基盤強化	人財育成・活性化		新人事制度導入・次世代リーダー育成	
	情報システム基盤強化		生産性向上に向けた各種システムの整備、導入	
	財務基盤強化		ROE：7.1%⇒9.2% 自己資本比率：57.0%	



補足資料

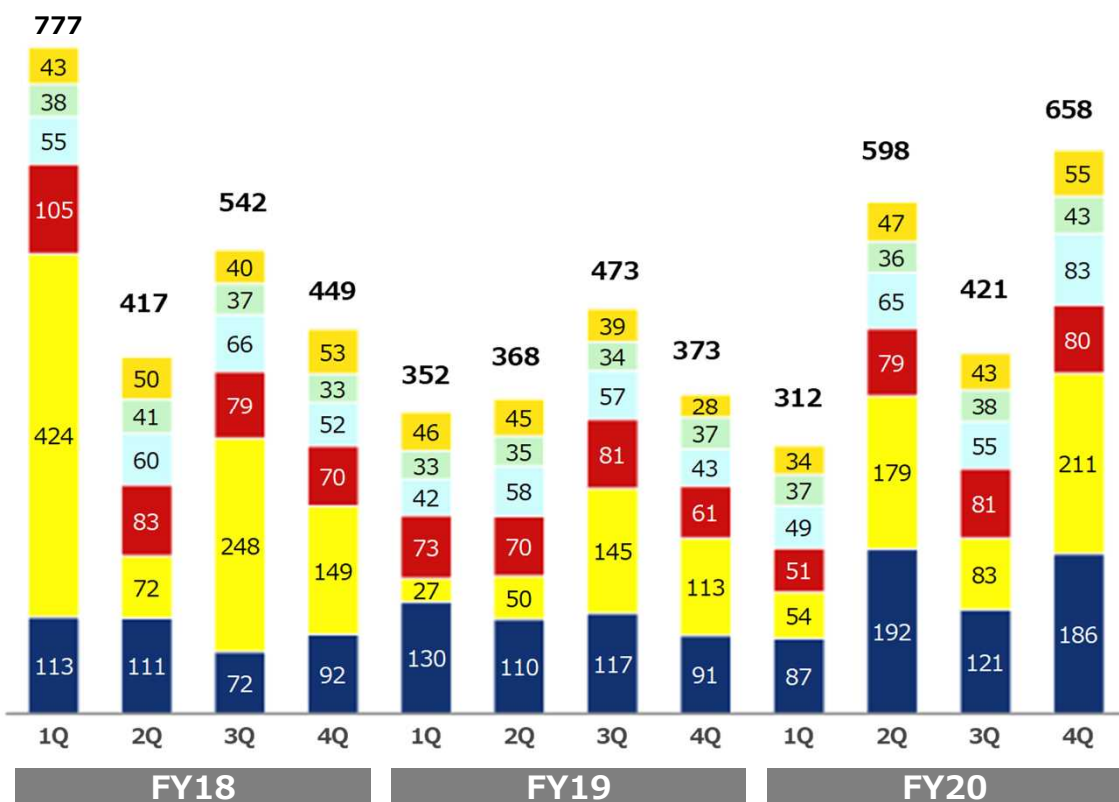
2020年度 連結業績 (四半期)

【単位：億円】	2019年度 実績					2020年度 実績					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	前年同期比
受注高	352	368	473	373	1,566	312	598	421	658	1,989	27.0%
売上高	468	500	457	429	1,854	366	473	447	545	1,830	-1.3%
売上総利益	121	136	137	112	506	94	139	134	171	538	6.3%
率	25.8%	27.2%	30.0%	26.1%	27.3%	25.7%	29.5%	29.9%	31.4%	29.4%	2.1pt
販管費	72	101	89	84	346	84	91	90	101	366	5.6%
営業利益	49	35	48	28	160	10	49	43	70	172	7.8%
率	10.5%	7.0%	10.5%	6.4%	8.6%	2.7%	10.3%	9.6%	12.9%	9.4%	0.8pt
経常利益	61	39	51	30	181	10	50	41	78	180	-0.5%
率	13.0%	7.8%	11.1%	7.0%	9.7%	2.8%	10.6%	9.2%	14.4%	9.8%	0.1pt
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	34	43	32	-2	108	3	42	37	66	148	37.7%
率	7.4%	8.7%	7.0%	-0.5%	5.8%	0.9%	8.9%	8.3%	12.0%	8.1%	2.3pt

2020年度 品目別受注高・売上高（四半期推移）

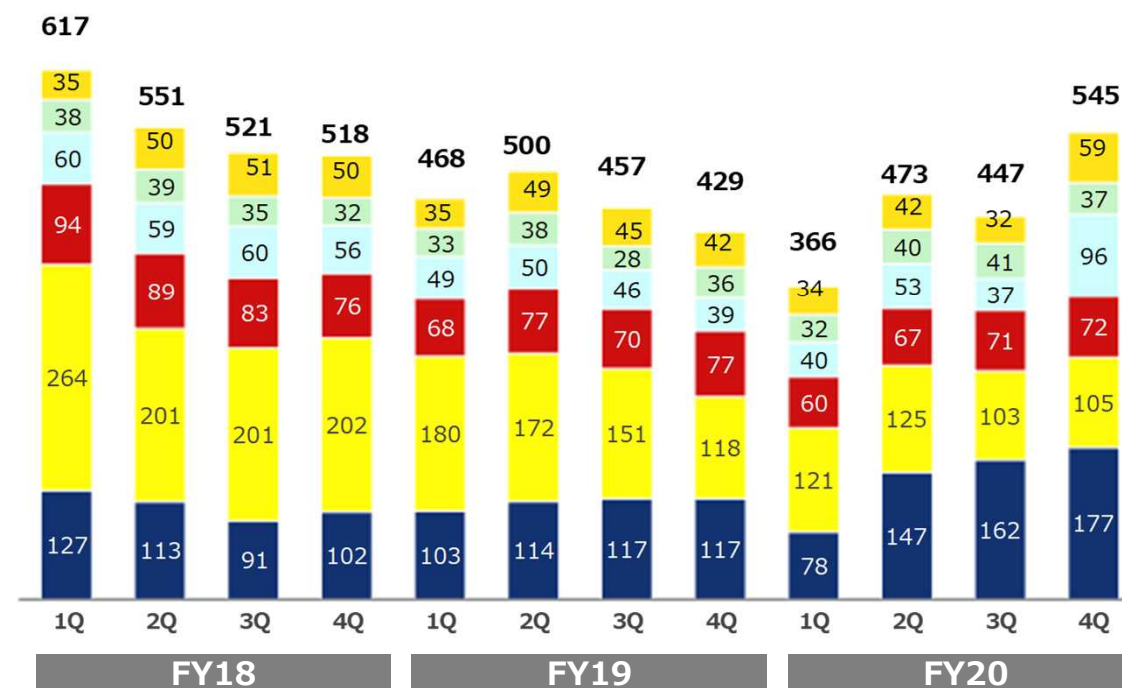
受注高

【単位：億円】



売上高

【単位：億円】

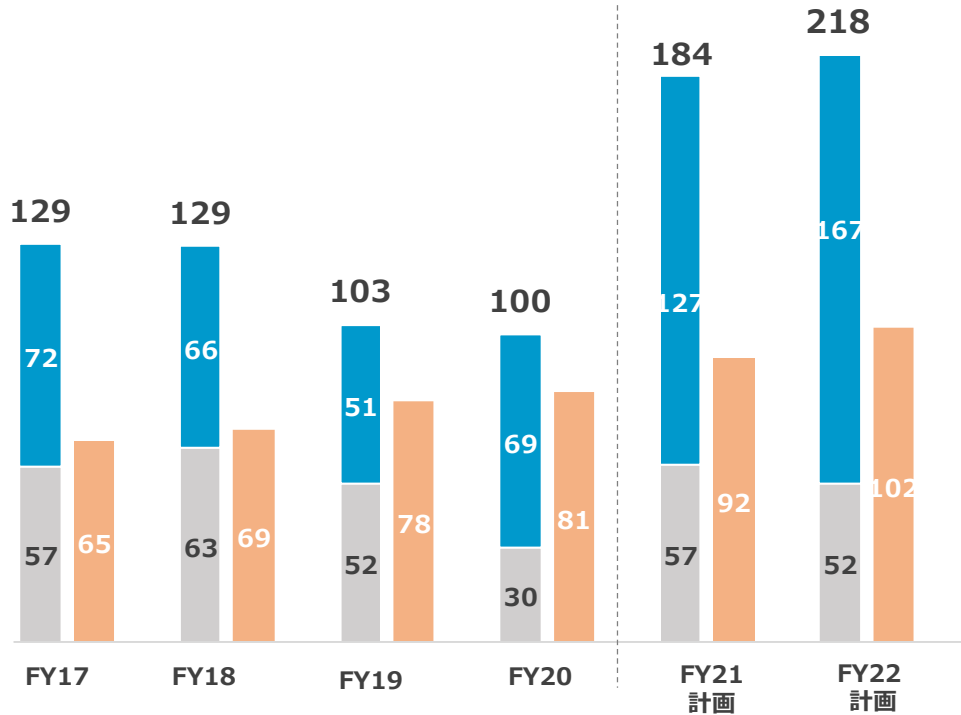


- 研究開発投資（研究開発設備投資＋研究開発費）を3年間で500億円⇒650億円に増額

設備投資の推移・計画

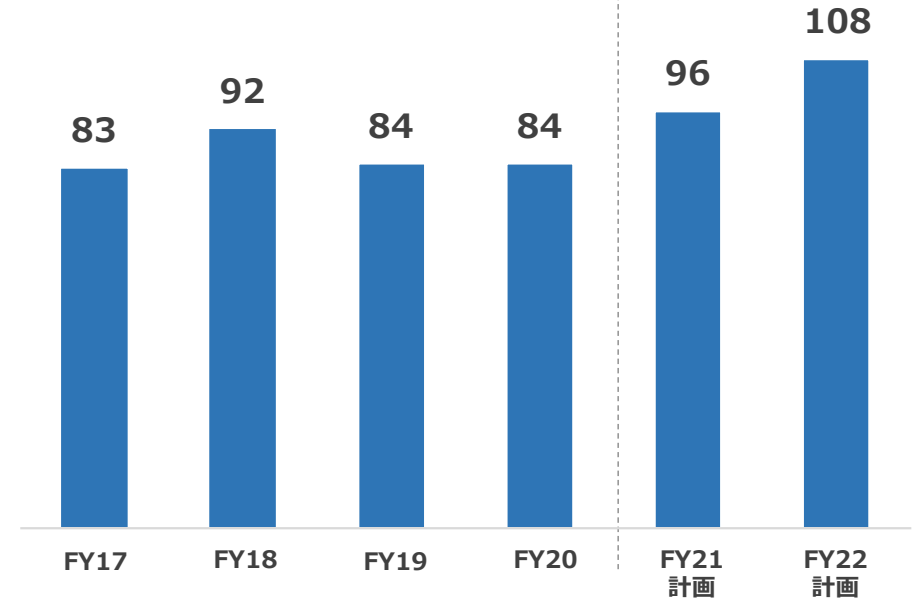
【単位：億円】

■ 建物・生産設備等
■ 研究開発設備 ■ 減価償却費



研究開発費の推移・計画

【単位：億円】



茅ヶ崎本社・工場で新型コロナウイルスワクチン集団接種を実施（茅ヶ崎市民対象）

職場での新型コロナウイルスワクチン接種を推進する国の方針を踏まえ、茅ヶ崎本社・工場において、ワクチンの職域接種を開始するとともに、地域貢献の一環として、茅ヶ崎市民を対象とした集団接種を実施しました。

茅ヶ崎市が推進している住民向け接種事業に対し、「医療法人社団康心会湘南東部総合病院」のご協力を得て、三者連携により実現しました。



茅ヶ崎市、湘南東部総合病院、当社の三者は、この取り組みを通じて、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束に貢献します。

経済産業省「健康経営優良法人2021（ホワイト500）」に4年連続で認定

「夢があって、仕事が好き、職場に行くのが楽しくなる」状態を目指し、「人間力の向上」を目標に、健康経営を推進しています。

「健康経営優良法人2021（ホワイト500）」大規模法人部門に認定
株式会社アルバック（4年連続）

「健康経営優良法人2021」中小規模法人部門に認定

- アルバック販売株式会社（3年連続）
- アルバック・ファイ株式会社（2年連続）
- アルバックテクノ株式会社（2年連続）
- タイゴールド株式会社
- アルバック健康保険組合



さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC